

図書館 だより 1月号

2022.1 発行

発行者：新宮東中学校図書館
文責：司書 小林真知子

今月の本

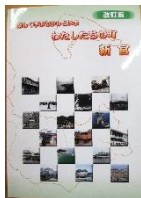
「新宮町文化財マップ」

新宮町の布の絵本作成ボランティア「ファンタジア」さんが布で「新宮町文化財マップ」をつくり、町立歴史資料館で展示されていることを知っていますか？

図書館では、その下絵をお借りし、展示しています。下絵を見た後、実際に布のマップも見に行ってもいいですね。

今一度、新宮町の歴史を学んでみませんか？

『わたしたちのまち新宮改訂版』 新宮町



今月の防災本

今年度は、SDGs 11「住み続けられるまちづくりを」をテーマに本を紹介しています。

「住み続けられるまち」の反対は、「住むことができなくなったまち」。実は世界中にそんなまちがあるのです。なぜ、住むことができなくなったのか、その理由を知ることによって、まちづくりにとって大切なことがわかります。

『絶対に住めない世界のゴーストタウン』 クリス・マグナブ/著 520マ



あけましておめでとうございます

3学期がはじまりました。今年度図書館は、カーリルでの予約や、ボードゲームの設置などあらたな事に取り組みました。これから年度末へむけて総仕上げにはいります。3学期も図書館の動向に要注目！

本年も皆さんの来館をお待ちしています。どうぞよろしくお願いいたします。

○図書館のルール再確認

・テスト勉強や自習での利用 OK

奥の四角い机の座席は、学習に集中するための席です。

・静かにすごそう

小さくても響く、笑い声には要注意。

「学習」と「憩い」、利用目的が違う人同士が、お互い気持ちよく利用できるように、行動しましょう。



1月の昼休みは、どの学年も利用できます

12月に引き続き、1月も昼休みの利用は、どの学年もできます。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況によって変更することもあります。昼の放送や、図書館前の掲示板で確認してください。

今月、本を借りた人は、図書館オリジナル「本みくじ」をひくことができます。

また、来館した3年生には、「3年生応援コーナー」でお守りをプレゼントしていますよ！



あたらしい本がはいりました！



『ぐつぐつ、お鍋』
阿川佐和子 ほか/著
河出書房新社 914ク

お鍋がおいしい季節です。

みなさんは、何鍋が好きですか？

この本は、お鍋をテーマにしたエッセイがたくさん載っています。

鍋はいいもんだ、と思う本です。

『日向丘中学校カウンセラー室』
まはら三桃/著
アリス館 913マ

主人公は、スクールカウンセラーの谷原綾、その綾の勤める日向丘中学校カウンセラー室でおこる出来事が描かれています。もちろん、まはら三桃作品らしい伏線もあり。



『100万回死んだねこ 福井県立図書館覚え違いタイトル集』
福井県立図書館/編著
講談社 015ヒ

図書館では、「この本ありますか？」と聞かれることがよくあります。中には作品名がはっきりしないことも。それでも、図書館はちゃんと見つけ出してくれます。

クスツと笑いつつ、図書館の役割もわかる本です。

『ギガタウン漫符図譜』
こうの史代/著
朝日新聞出版 726コ

漫符とは、といった、マンガ特有の記号のこと。この本では、その使い方の説明と用例としてマンガが描かれています。著者いわく、日本でおそらく初めての漫符事典とのことでした。



『ZENOBIA ゼノビア』
モートン・デュアー/文
ラース・ホーネマン/絵
サウザンブックス社 726テ

グラフィックノベルというマンガの仲間のジャンルの本です。

このお話の舞台は、中東シリア。文は少ないですが、絵がしっかりと内容を伝えてくれます。

このような本から、ぜひ世界に目を向けて欲しいと思います。